

ノーベル平和賞受賞スピーチで世界を感動させたサーロー節子。彼女の原点とは——？

ヒロシマへの誓い

——サーロー節子とともに——

the VOW from HIROSHIMA

ノット・ジャスト・ア・サバイバー・フィルム作品

サーロー節子 / 竹内道

エグゼクティブ・プロデューサー: デビッド・ジェンズ、ダン・タニ / プロデューサー: スーザン・ストリックラー、竹内道

監督: スーザン・ストリックラー / 共同ライター: ルネ・シルバーマン、ピーター・ミラー / 撮影: ジェニファー・ハーシ / 編集: ジャッド・ブレス / 音楽: ダラス・クレイン / ナレーション: 竹内道

2019年、アメリカ映画、82分 / 配給: 3DAP Japan LLC、「ヒロシマへの誓い」配給委員会 ©2019 Not Just a Survivor Film, LLC



公式ホームページ hiroshimaenochikai.com



クリーブランド
国際映画祭
2020年
ワールド・プレミア作品

2019年
オーハイ・
ドキュメンタリー
映画祭
観客賞受賞

語り続けることが、私の使命。



「同情は求めています。
人々に行動してほしい。
そのために私は
語り続けるんです。」

——サーロー節子

2021年核兵器禁止条約発効が実現する！ その大きな原動力として世界で最も尊敬される女性の一人となったサーロー節子の原点を探ったドキュメンタリーがついに登場した。13歳で被爆しその後の人生の大半をカナダで暮らし核兵器撲滅のための活動を続けるサーロー節子と、広島出身で被爆二世であるニューヨーク在住の竹内道が出会った時からその旅は始まった。二人は偶然にも広島女学院の卒業生同士。原爆投下の朝、節子は広島で何を見たのか、その後の彼女の人生がどう変わっていったのが本作品のプロデューサーでありナレーターを務める道の眼を通じて紐解かれていく。それは、道にとっても被爆二世である自身の真実を見つける旅となるのであった。

監督は全米の優れたテレビ番組に送られるエミー賞や全米監督協会賞を受賞しているスーザン・ストリッカー。撮影は2015年から4年をかけて、ニューヨーク、広島、トロント、オスロで行われた。クライマックスは2017年12月、ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)が受賞したノーベル平和賞の授賞式で節子が行ったスピーチ。何十万の被爆者の声を代表して話す節子の言葉のひとつひとつには、亡くなった最愛の家族や級友達への誓いが込められ、圧倒的な迫力で見守る者の胸を揺さぶる。



廃墟の中の日赤病院(1945年) 写真提供 ©菊池俊吉



the VOW from HIROSHIMA



サーロー節子 | 広島女学院高等女学校在学中に学徒動員先にて被爆。1954年にアメリカのリンチバーグ大学に留学。カナダ人のジム・サーローと結婚しカナダのトロントに移住する。1965年よりソーシャルワーカーとして活躍しカナダで最高の名誉であるカナダ勲章を受章した。世界各地にて英語での被爆証言活動を続けICAN発足当時よりICANを代表して国連や国会会議にて被爆者としての体験を語り多くの人に影響を与えている。

竹内道 (プロデューサー) | 広島女学院高校卒業後心理学を勉強するために渡米。ワグナー大学心理学部卒業後当時の電通アメリカ(DCA)に入社。1988年、アークメディア(Arc Media, Inc.)を設立。アメリカ市場における日本企業の事業の立ち上げを支援してきた。2010年4月より国連NGO, Youth Arts New Yorkに参加。祖父竹内鈞は広島日赤病院初代院長時に被爆。母竹内孝子は入市被爆をした。

公式ホームページ hiroshimaenochikai.com

2019年/アメリカ映画/82分 配給:3 DAP Japan LLC、「ヒロシマへの誓い」配給委員会 ©2019 Not Just a Survivor Film, LLC

《核兵器禁止条約》発効を受け、緊急ロードショー決定!!

4.17[±] ロードショー!

他 全国順次公開! 最新情報は公式サイトでご確認ください。 hiroshimaenochikai.com

前売鑑賞券 ¥1,200 (税込) 劇場窓口にて好評発売中!

R16長者町5丁目交差点沿

横浜シネマリン

045-341-3180 www.cinmarine.co.jp